

アベイル® 粒剤

AVAIL

登録番号 第23623号

種類名 アセタミプリド・シアントラニプロール粒剤
acetamiprid・cyantraniliprole

殺虫剤分類 4A, 28

性状 褐色細粒

有効年限 4年

有効成分 アセタミプリド 0.25%、シアントラニプロール 0.50%

毒性 普通物(毒劇物に該当しないものを指している通称)

包装 1kg×12袋

■特 長

- 2つの有効成分を含有する混合粒剤のため幅広い殺虫スペクトラムを有します。
- セル苗やポット苗に対して育苗期後半の株元処理で各種害虫の防除が可能です。
- 粒剤の最適化で速効性と残効力を兼ね備えます。
- 速やかに効果を発現し、害虫が媒介する病害の蔓延を抑制します。
- 異なる作用機構を持つ有効成分を含有し、薬剤抵抗性害虫にも有効です。
- 粒剤なので、有用昆虫に対する影響が少ないです。

最新の登録内容、
SDSはこちら

■適用害虫名及び使用方法

(2023年12月20日現在)

作物名	適用害虫名	使用量	使用時期	本剤の使用回数	アセタミプリドを含む農薬の総使用回数	シアントラニプロールを含む農薬の総使用回数	使用方法
きゅうり	コナジラミ類 アブラムシ類 アザミウマ類 ウリハムシ	2g/株	育苗期 後半 ～ 定植 当日	1回	5回以内 粒剤の定植時までの処理は1回以内、2%粒剤の定植後の株元散布は1回以内、散布、くん煙及び1%粒剤の株元散布は合計3回以内	4回以内 定植時までの処理及び定植直後の株元散布は合計1回以内、定植後の散布は3回以内	株元 散布
トマト ミニトマト	コナジラミ類 アブラムシ類 ハモグリバエ類				4回以内 粒剤の定植時までの処理は1回以内、散布、くん煙及び定植後の株元散布は合計3回以内	1回	
すいか す	コナジラミ類 アブラムシ類 アザミウマ類				3回以内 粒剤の定植時までの処理は1回以内、散布、くん煙及び定植後の株元散布は合計2回以内	4回以内 定植時までの処理及び定植直後の株元散布は合計1回以内、定植後の散布は3回以内	
ピーマン	コナジラミ類 アブラムシ類 アザミウマ類 コガネムシ類幼虫	1g/株			4回以内 粒剤の定植時までの処理は1回以内、散布及び定植後の株元散布は合計3回以内	4回以内 定植時までの処理は1回以内、定植後の散布は3回以内	
はくさい	ハイマダラノメイガ アブラムシ類 コナガ アオムシ	セル成型育苗トレイ 1箱または ペーパーポット1冊 (約30×60cm、 使用土壌約1.5～4ℓ) 当り40g			4回以内 粒剤の定植時までの処理は1回以内、散布及び定植後の株元散布は合計3回以内	4回以内 定植時までの処理は1回以内、定植後の散布は3回以内	
キャベツ	アブラムシ類 コナガ アオムシ ハスモンヨトウ ネギアザミウマ ハイマダラノメイガ	セル成型育苗トレイ 1箱または ペーパーポット1冊 (約30×60cm、 使用土壌約1.5～4ℓ) 当り40g			6回以内 粒剤の定植時までの処理は1回以内、散布及び定植後の株元散布は合計5回以内	4回以内 定植時までの処理は1回以内、定植後の処理は3回以内	

殺 虫 剤 アベイル粒剤

作物名	適用害虫名	使用量	使用時期	本剤の使用回数	アセタミプリドを含む農薬の総使用回数	シアントラニリプロールを含む農薬の総使用回数	使用方法
ブロッコリー	アオムシ アブラムシ類 ネギアザミウマ コナガ ハスモンヨトウ	1g/株 セル成型育苗トレイ 1箱または ペーパーポット1冊 (約30×60cm、 使用土壌約1.5～4ℓ)	育苗期 後半 ～ 定植 当日	1 回	4 回以内 〔粒剤の定植時までの 処理は1回以内、散布 及び定植後の株元散布 は合計3回以内〕	4 回以内 〔定植時までの 処理は1回以内、 定植後の処理 は3回以内〕	株元 散布
カリフラワー	アオムシ ハスモンヨトウ	4 回以内 〔粒剤の定植時までの 処理は1回以内、 散布は3回以内〕			1 回		
レタス	オオタバコガ ヨトウムシ アブラムシ類 ナモグリバエ	1g/株 セル成型育苗トレイ 1箱または ペーパーポット1冊 (約30×60cm、 使用土壌約1.5～4ℓ)			4 回以内 〔粒剤の株元散布は1回 以内、散布は3回以内〕	4 回以内 〔定植時までの 処理は1回以内、 定植後の散布 は3回以内〕	
非結球レタス	アブラムシ類 ナモグリバエ	2 回以内 〔粒剤の株元散布は1回 以内、散布は1回以内〕					
ねぎ	ネギアザミウマ ネギハモグリバエ シロイチモジヨトウ	4 回以内 〔は種時の土壌混和は1回 以内、植付時の土壌混和 及び定植当日までの 株元散布は合計1回以内〕	4 回以内 〔定植時までの 処理は1回以内、 定植後の処理 は3回以内 (但し、株元灌注 は1回以内)〕				
だいこん	アブラムシ類 ハイマダラノメイガ コナガ アオムシ キスジノミハムシ	6kg/10a	は種時	1 回	4 回以内 〔は種時までの 処理は1回以内、 は種後の処理 は3回以内〕	播溝 土壌 混和	

△ 効果・薬害などの注意

- きゅうりに使用する場合、葉縁に褐変などの薬害を生じる場合がありますが、その後の生育に対する影響はありません。
- 本剤を使用しただいこんは、つまみ菜、間引き菜として食用に供さないでください。
- 蚕に対して影響があるので、周辺の桑葉にかからないようにしてください。
- 使用に当たっては、使用量、使用時期、使用方法を誤らないように注意し、特に初めて使用する場合は、病害虫防除所等関係機関の指導を受けるようにしてください。

△ 安全使用上の注意

- 眼に対して刺激性があるので、眼に入った場合には直ちに水洗し、眼科医の手当を受けてください。

治療法：アセタミプリドの中毒に対しては、動物実験でL-メチオニン製剤、グリチルリチン製剤及びグルタチオン製剤の注射投与が有効であるとする報告もあります。

保管：密封し、直射日光をさけ、食品と区別して、小児の手の届かない、冷涼・乾燥した所に保管してください。

●アベイル粒剤の上手な使い方

- ①葉に水滴が付いた状態で処理すると、葉上で崩壊・固化することがあるので、作物表面が乾いた状態で処理してください。
- ②ピーマンに使用する場合、葉縁に褐変などの薬害を生じる場合がありますが、その後の生育に対する影響はありません。

【農薬をご使用の際は】

- 使用前にはラベルをよく読んでください。
- ラベルの記載以外には、使用しないでください。
- 小児の手の届く所には、置かないでください。
- 空容器・空袋は圃場などに放置せず、適切に処理してください。